

## 古ぼけた写真のように加工しよう

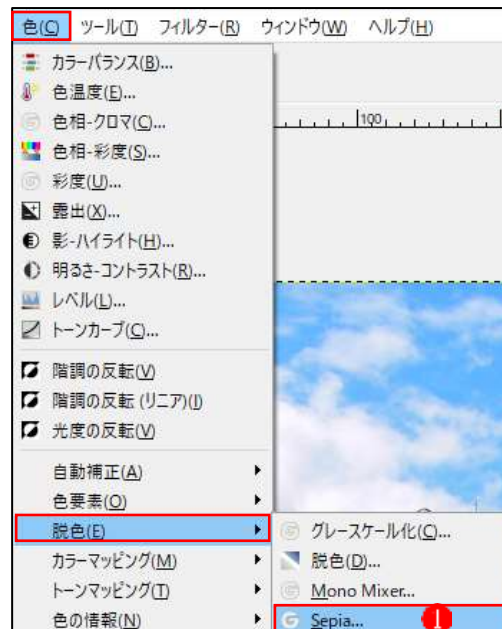
## 1 セピア色にする

サンプルデータを古ぼけた写真に加工します。はじめにセピア色に変更します。

①サンプルデータを開きます。



②[色]メニューの[脱色]→[Sepia]をクリックします①。



②[Sepia]ダイアログが表示されます。  
[Effect strength]を調整します。ここでは[0.6]程度にし②、[OK]をクリックして確定します③。

✚ [Effect strength] (効果の強さ)は、[1]に設定するとセピア色の単独の濃淡になり、[0]に近づくほど、元画像の色が反映されます。

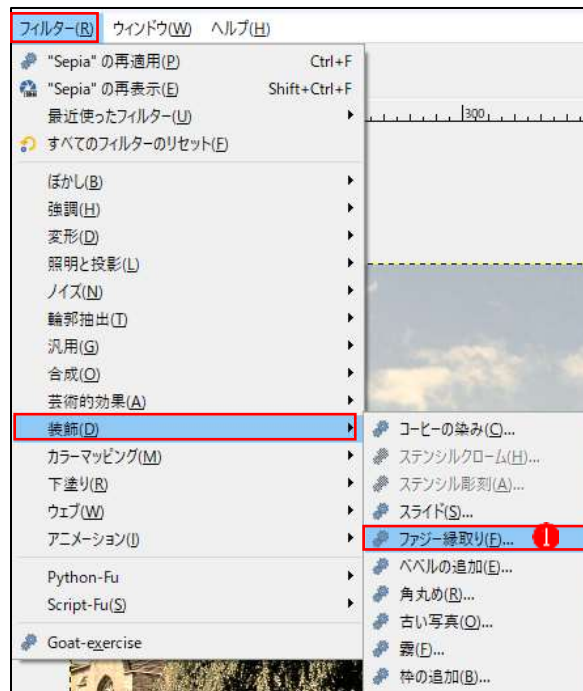


- ③少し元画像の色が残るセピア色になりました④。

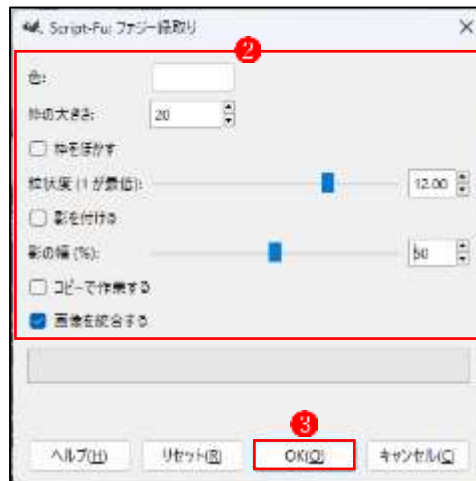


## 2 フィルターの[ファジー縁取り]で縁をつける

- ①[フィルター]メニューの[装飾]→[ファジー縁取り]をクリックします①。



- ②[ファジー縁取り]ダイアログが表示されます。次のように設定します②。
- [色]：白
  - [枠の大きさ]：[20]
  - [枠をぼかす]：チェックを外す
  - [粒状度]：[12]程度
  - [影を付ける]：チェックを外す
  - [画像を統合する]：チェックを入れる
- 設定したら[OK]をクリックします③。



③縁が作成されました④。



### 3 フィルターの[霧]でムラをつける

①[フィルター]メニューの[装飾]→  
[霧]をクリックします①。

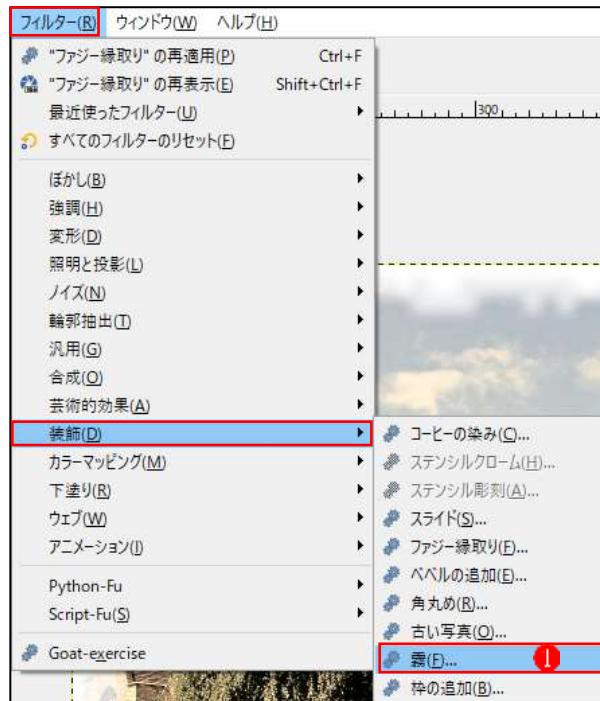
②[python-fu-foggify]ダイアログが表示  
されます。次のように設定しま  
す②。

[霧の色]：オレンジ色

[霧の深さ]：[2.0]程度

[不透明度]：[50]程度

設定したら[OK]をクリックしま  
す③。



③画像にムラ（汚れ）がつかしました。



✚ 作成された汚れは別レイヤーになります④。[python-fu-foggify]ダイアログにある[不透明度]は、作成される[霧模様]レイヤーの不透明度で⑤、作成後に[レイヤー]ダイアログでも変更できます。

